

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(財)財務会計基準機構会員



平成20年7月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 4531 URL <http://www.yuki-gosei.co.jp/>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)山田 紘行
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)鷺崎 英博 TEL (03)3664-3980
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,992	—	38	—	40	—	16	—
20年3月期第1四半期	2,268	△3.0	147	△27.5	148	△23.5	83	△27.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	0	74	—	—
20年3月期第1四半期	3	82	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
21年3月期第1四半期	19,070		10,418		54.6	476	04
20年3月期	19,148		10,522		55.0	480	79

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,418百万円 20年3月期 10,522百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	—	—	7 00	7 00	
21年3月期	—	—	—	—	—	
21年3月期(予想)	—	—	—	7 00	7 00	

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	5,700	—	170	—	100	—	20	—	0	91
通期	12,000	14.3	620	39.7	500	32.1	250	△4.5	11	42

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

21年3月期第1四半期	21,974,000株	20年3月期	21,974,000株
-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期	88,919株	20年3月期	87,293株
-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計期間）

21年3月期第1四半期	21,885,643株	20年3月期第1四半期	21,904,106株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の数値は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の売上高は、29億92百万円となり、前年同期に比べ7億23百万円増加いたしました。増収の主な要因といたしましては、医薬品関係および食品添加物関係における主力製品であるアミノ酸およびビタミン原料の輸出売上高の増加に加えて、工業薬品関係における農薬中間体などの輸出売上高の増加によるものであります。また、たばこの香料および同材料関係の売上高は、前年同期に比べほぼ横ばいで推移しております。

利益面におきましては、原燃料価格の上昇および税制改正による減価償却費の増加などに伴う製造コスト増に加えて、棚卸資産の評価に関する会計基準の適用などもあり、前年同期に比べ各利益とも大幅に減少いたしました。

部門別の売上高の内訳

金額：百万円、構成比：%

	平成20年3月期 第1四半期		平成21年3月期 第1四半期		(参考)平成20年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
たばこの香料および同材料関係	103	4.6	115	3.9	429	4.1
医薬品関係	703	31.0	1,016	33.9	3,459	32.9
食品添加物関係	387	17.1	537	18.0	1,833	17.5
工業薬品その他	1,074	47.3	1,322	44.2	4,779	45.5
合計	2,268	100.0	2,992	100.0	10,501	100.0

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、つぎのとおりであります。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から88百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加と製品の減少によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から166百万円減少いたしました。これは主に、機械及び装置の減価償却による減少によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から96百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から70百万円減少いたしました。これは主に、役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末から104百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は310百万円となり前事業年度末に比べ121百万円増加いたしました。

当第1四半期会計期間末におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は122百万円(前年同期比27百万円増)となりました。これは主に、減価償却費300百万円、たな卸資産の減少364百万円等による資金の増加と、売上債権の増加329百万円、仕入債務の減少153百万円等による資金の減少との差額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は86百万円(前年同期は、8百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出106百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は84百万円(前年同期は33百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の借入による収入258百万円、ならびに配当金の支払額154百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績は概ね想定通りであり、現時点における第2四半期および通期の業績予想につきましても、平成20年5月15日に発表いたしました業績予想と変更はありません。ただし、予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前会計年度末以降に経営環境、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)

及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期会計期間から適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これに伴い、前事業年度と同一の方法によった場合と比べ、売上総利益、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は143,765千円それぞれ減少しております。

(3) 追加情報

法人税法の改正を契機として見直しを行った結果、当第1四半期会計期間から、主な機械装置の耐用年数を7年～12年から8年に変更しております。なお、当該変更に伴い、売上総利益、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益が9,912千円それぞれ減少しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	560,665	439,088
受取手形及び売掛金	3,464,559	3,134,561
製品	1,886,530	2,234,455
原材料	492,694	579,790
仕掛品	732,980	664,875
その他	394,260	390,572
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	7,531,390	7,443,044
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,905,646	1,920,953
機械及び装置	3,061,971	3,240,734
土地	3,198,523	3,198,523
その他の設備	932,908	917,511
有形固定資産合計	9,099,050	9,277,722
無形固定資産	87,790	91,657
投資その他の資産		
投資有価証券	1,779,469	1,716,226
その他	573,007	620,585
貸倒引当金	△241	△241
投資その他の資産合計	2,352,236	2,336,571
固定資産合計	11,539,077	11,705,951
資産合計	19,070,467	19,148,996
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,796,227	1,939,746
短期借入金	1,360,000	1,101,250
未払法人税等	23,296	55,330
賞与引当金	83,913	176,850
未払金	228,988	148,139
その他	1,521,350	1,495,708
流動負債合計	5,013,776	4,917,024
固定負債		
長期借入金	1,850,000	1,850,000
再評価に係る繰延税金負債	814,611	814,611
退職給付引当金	904,948	910,533
役員退職慰労引当金	68,900	133,950
固定負債合計	3,638,460	3,709,095
負債合計	8,652,236	8,626,119

有機合成薬品工業株(4531)平成21年3月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471,000	3,471,000
資本剰余金	3,250,140	3,250,140
利益剰余金	3,636,626	3,773,617
自己株式	△30,313	△29,836
株主資本合計	10,327,454	10,464,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	176,538	143,715
土地再評価差額金	△85,761	△85,761
評価・換算差額等合計	90,776	57,954
純資産合計	10,418,231	10,522,876
負債純資産合計	19,070,467	19,148,996

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
売上高	2,992,347
売上原価	2,413,983
売上総利益	578,364
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	105,237
役員退職慰労引当金繰入額	5,850
賞与引当金繰入額	20,121
退職給付費用	10,967
開発研究費	142,598
その他	255,248
販売費及び一般管理費合計	540,022
営業利益	38,341
営業外収益	
受取利息	877
受取配当金	17,866
雑収入	6,786
営業外収益合計	25,530
営業外費用	
支払利息	17,257
社債利息	3,253
雑損失	3,045
営業外費用合計	23,556
経常利益	40,315
特別利益	
ゴルフ会員権売却益	8,314
特別利益合計	8,314
特別損失	
固定資産除却損	17,723
特別損失合計	17,723
税引前四半期純利益	30,906
法人税等	14,690
四半期純利益	16,216

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	30,906
減価償却費	300,131
賞与引当金の増減額(△は減少)	△92,937
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,584
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,850
固定資産除却損	17,723
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△8,314
受取利息及び受取配当金	△18,744
雑収入	△6,786
支払利息	20,511
雑損失	2,903
売上債権の増減額(△は増加)	△329,998
たな卸資産の増減額(△は増加)	364,557
仕入債務の増減額(△は減少)	△153,783
未払又は未収消費税等の増減額	△30,014
その他	73,584
小計	170,004
利息及び配当金の受取額	19,255
利息の支払額	△16,352
その他の収入	2,121
法人税等の支払額	△52,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△106,079
有形固定資産の除却による支出	△2,358
その他の固定資産の増減額(△は増加)	21,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	258,750
社債の償還による支出	△20,000
自己株式の取得による支出	△477
配当金の支払額	△154,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,760
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,576
現金及び現金同等物の期首残高	189,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	310,665

注記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) (要約) 前四半期損益計算書

科 目	前第1四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	2,268,738
II 売上原価	1,640,463
売上総利益	628,275
III 販売費及び一般管理費	480,973
営業利益	147,302
IV 営業外収益	26,316
V 営業外費用	25,500
経常利益	148,118
VI 特別利益	—
VII 特別損失	6,415
税引前四半期純利益	141,703
税金費用	58,000
四半期純利益	83,703

(2) (要約) 前四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期(当期)純利益	141,703
減価償却費	269,740
固定資産除却損	6,415
支払利息	21,555
売上債権の減少(△増加)	198,718
たな卸資産の減少(△増加)	△237,597
仕入債務の増加(△減少)	△321,962
未払(未収)消費税等の増減	84,171
その他	△65,582
小計	97,161
利息及び配当金の受取額	17,803
利息支払額	△17,198
法人税等支払額	△8,094
その他	5,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,082
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	192,283
有形固定資産の取得による支出	△200,359
その他	△482
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,558
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額(△純減少額)	200,000
長期借入金の返済による支出	△58,500
社債の償還による支出	△20,000
配当金の支払額	△154,672
その他	△608
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,780
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	969
V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	53,712
VI 現金及び現金同等物の期首残高	175,066
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	228,779

6. その他の情報

(1) 生産実績

種別	当第1四半期会計期間 (平成20年4月～平成20年6月)
	金額(千円)
たばこの香料および同材料関係	110,356
医薬品関係・食品添加物関係	1,309,792
工業薬品その他	1,105,868
合計	2,526,016

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 医薬品関係・食品添加物関係については、両方に使用される製品があるため生産実績では一括して表示しております。

(2) 受注状況

当社は受注による生産は僅かであり、主として見込み生産によっておりますので、受注ならびに受注残について、特に記載すべき事項はありません。

(3) 販売実績

種別	当第1四半期会計期間 (平成20年4月～平成20年6月)
	金額(千円)
たばこの香料および同材料関係	115,650
医薬品関係	1,016,339
食品添加物関係	537,631
工業薬品その他	1,322,725
合計	2,992,347

- (注) 1 消費税等は含まれておりません。
 2 当第1四半期会計期間の主要な輸出先及び輸出版売高及び割合は、次のとおりであります。()内は総販売実績に対する輸出高の割合であります。

輸出先	当第1四半期会計期間	
	販売金額(千円)	割合(%)
アジア	391,626	35.9
ヨーロッパ	353,869	32.4
北アメリカ	283,459	25.9
その他	63,528	5.8
計	1,092,484 (36.5%)	100.0

- 3 当第1四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
住友化学株式会社	463,607	15.5

- 4 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。